

2015年度 実践セミナー[OT 県士会向け]

8月2日(日)3日(月)

4-B 「不器用さ」への理解と指導—意欲を育むために

体の動きがぎこちない、鉛筆や箸などの道具を上手に使えない不器用といわれる子ども。生活や学習の中で不具合を感じるだけでなく、失敗経験の積み重ねから意欲や自信が失われることも少なくありません。このセミナーでは、粗大運動、微細運動、視機能といった領域別に、不器用さへの理解と対応について学ぶほか、クラスや集団場面でできる意欲を育む取り組みも紹介します。「不器用さ」に対するアプローチを多面的に学び、明日からの指導、支援を充実させるためのセミナーです。

1. 「不器用さ」のメカニズムと支援
花井忠征先生(中部大学)
2. 粗大運動へのアプローチ
花井忠征先生(中部大学)
3. 器用さを育てる工夫—物品操作における手指機能について
三澤一登先生(愛媛十全医療学院)
4. 「不器用さ」の評価
増田貴人先生(弘前大学)
5. 視機能の問題と保育・教育の場でできる支援
本多和子先生(NPO法人翔和学園・どんぐり発達クリニック)
6. 意欲を育てる—クラスの中での取り組み
藤原義博先生(創価大学)

8月6日(木)7日(金)

6-A リハ職(ST・OT等)のための発達障害セミナー

—医療・教育・福祉の場で専門性を活かす

発達障害のある子への支援に携わるリハ職は複数あります。それぞれの専門性はありますが、発達支援は子どもの発達の全体像を捉えることが必要です。他領域についても学びつつ、自分自身の専門性を深めることで、子どもや保護者のニーズにより応えることができます。このセミナーでは、STやOTといったリハ職の方々の発達障害臨床に役立つ、実践的な講義を2日間に渡って行います。技能向上、そして日々の臨床の振り返り等にお役立てください。

1. 発達障害の医学―診断基準と薬物治療等について
相原正男先生（山梨大学大学院総合研究部）
2. 感覚統合理論をふまえた子どもの理解と関わり方
松本政悦先生（横浜市総合リハビリテーションセンター）
3. 手指のコントロール力を育てる指導
笹田哲先生（神奈川県立保健福祉大学）
4. 自閉症スペクトラム障害の子へのコミュニケーション支援―知的障害のない子を中心に
大岡治恵先生（日本福祉大学中央福祉専門学校）
5. 心理検査を解釈するポイント―WISC-IVを中心に
小林玄先生（立教女学院短期大学）
6. 発達障害のある子を育てる家族への支援―専門職としての心構えも含めて
中川信子先生（子どもの発達支援を考えるS Tの会）

☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。

★お申込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

- ・電話：03-3903-3800
- ・Fax：03-3903-3836
- ・HP：http://www.hattatsu.or.jp/

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナー（例：1-A，1-B）
を申し込むことはできません。

- ・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。
お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15～16:20（1つのセミナーにつき2日間の日程で行います）

《定員》約150～300名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室
東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各14,040円（税込）（会員12,960円（税込））